

● **ごみ処理の流れ**

**平成20年度のごみ総量 138.9万t (①+②+③)**

**① 家庭系ごみ 50.6万t**  
〔家庭などから排出されるごみ〕

普通ごみ……………44.2万t  
粗大ごみ……………1.2万t  
※資源ごみ……………2.9万t  
容器包装プラスチック…2.3万t

※資源ごみには、拠点回収量を含む。

**② 事業系ごみ 86.6万t**  
〔事業活動などによって排出されるごみ〕

事業ごみ……………82.7万t  
持込ごみ……………3.2万t  
臨時ごみ……………0.7万t

**③ 環境系ごみ 1.7万t**  
〔道路清掃などにより収集したごみ〕

道路清掃ごみ……………0.4万t  
街頭容器ごみ……………0.2万t  
不法投棄ごみ……………0.7万t  
河川清掃ごみ……………0.4万t

**資源回収 5.2万t**

**資源化 3.8万t**

〔再資源化〕  
アルミ製品・ガラスびん  
・プラスチック製品 など

**不適物・残渣 1.4万t**

**直接焼却ごみ 131.4万t**

**焼却処理 134.6万t**

**埋立処分 (焼却灰) 27.0万t**

**可燃物・残渣 1.8万t**

**破 碎 2.3万t**

**金属回収 0.5万t**

〔再資源化〕  
鉄・アルミ製品

**資源化の取組状況 (上記を除く)**

- 資源集団回収量 <3.6万t>
- 大規模建築物の資源化量 <18.5万t>

### 3 「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の基本方針と進捗状況

基本計画では、4つの基本方針にもとづき、ごみ減量の主役であり実践者である市民・事業者の皆さんと連携・協

働して3R（発生抑制・再使用・再生利用）の取組を積極的に推進することとしています。

基本方針

1

**3R**  
**(発生抑制・再使用・再生利用)**  
**推進の原則**

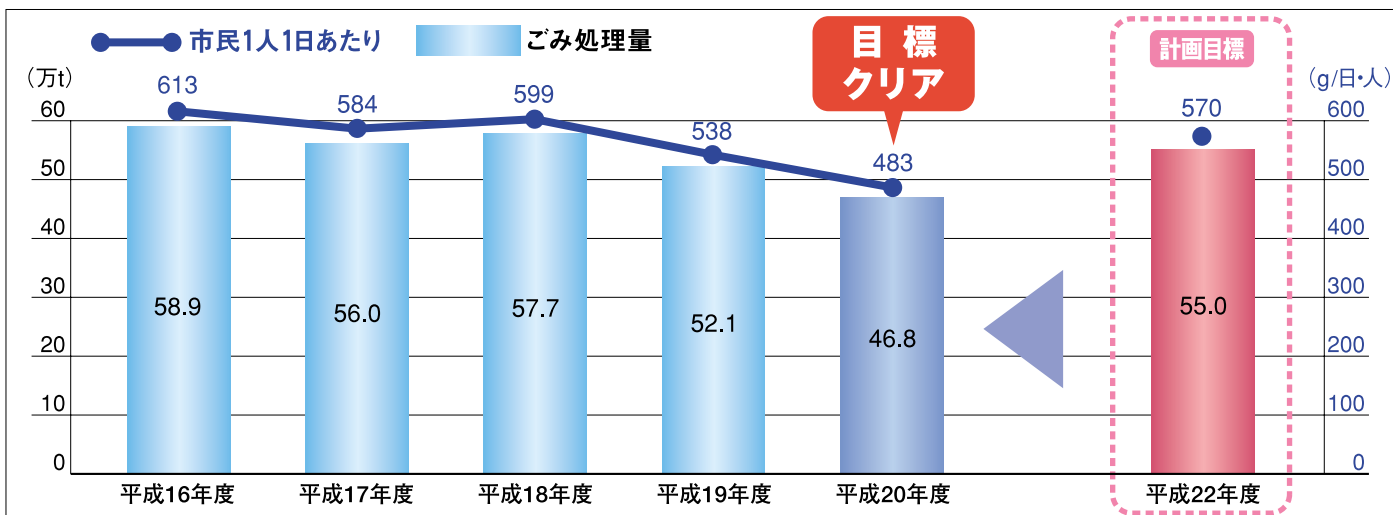
ごみ減量に向けた3Rの取組の中で、特に優先課題とされている2R（発生抑制・再使用）の取組を積極的に推進するとともに、分別収集の推進などリサイクル施策の充実を図り、リサイクル率を向上します。

## 家庭系ごみ

### 1 ごみ処理（焼却）量の推移

平成20年度のごみ処理（焼却）量は46.8万t(市民1人1日あたり483g)となり、基本計画の基準年度である平成16年度から比較すると約12.1万t(市民1人1日あたり約130g)の減量となりました。

特に、平成20年1月から実施した「中身の見えるごみ袋」による排出方法の指定以降、普通ごみの収集量が大きく減量し、平成19年度と比較して、ごみ処理（焼却）量は約5.3万t(約10%)減量しました



### 2 再生利用（リサイクル）量の推移（資源集団回収量を除く）

過去3カ年はほぼ横ばいで推移していますが、「中身の見えるごみ袋」による排出方法の指定などもあり、平成20年度の再生利用量は、平成19年度と比較して約0.2万t増量の3.8万tとなりました。

